

鴨川市江見3地区学校施設等統合整備検討委員会第5回会議の概要について

議事（1）通学について

前回会議で、通学については他の地区の詳しいことはわからないので、地区ごとに分かれて協議してはどうかという意見等があった。このため、各委員が江見地区、太海地区、曾呂地区に分かれて通学に関する問題点や要望事項等について話し合い、地域で集めた意見や要望を合わせて取りまとめた意見を全体会で発表した。

各地区の意見・要望については以下のとおり。

各地区から出された意見・要望等について

① 江見地区

- ・ 安全のためにスクールバスを江見地区の旧道に通して欲しい。
- ・ スクールバスは全員が座れる大きさのバスを用意して欲しい。
- ・ スクールバスには添乗員を乗せて欲しい。
- ・ 江見地区の北区について、どこまでバスが来てくれるのか検討して欲しい。
- ・ バスは無料として欲しい。
- ・ 遅刻した子どもの対策もあるので、バスは30分間隔で2便出して欲しい。
- ・ 降雨時にスクールバスを待機している間、濡れないような簡単な雨よけを設置して欲しい。
- ・ 病気の時の対応として、おじいちゃんやおばあちゃんが運転できない場合、小学校の先生が送ってきてくれるのか。
- ・ 真門地区の要望で、道路の横断が危険なので、帰りはUターンして山側のバス停で降ろして欲しい。
- ・ 幼稚園専用の送迎バスを出して欲しい。
- ・ 路線バスのルートが江見から太海、仁右衛門島を通り、旧道で鴨川まで行ってしまうが、子ども達が行く時間帯だけは、統合小学校まで入って行ってもらえないか。

② 太海地区

- ・ 既存のバス停利用で特に反対意見はなかった。
- ・ 国道の交通量が多くて横断が難しいため、江見方面でUターンしてから山側のバス停で降りるようにして欲しい。
- ・ 横断歩道のないバス停には、横断歩道を設置して欲しい。
- ・ 太夫崎には横断歩道があり押しボタン式信号が設置してあるが、現在通学している中学生がボタンを押しても信号がなかなか変わらずに道路横断が出来ないと聞いている。また、交通量が多くて、渡りたくても渡れないためバスが見えているのに、乗り遅れてバスが行ってしまうという話もある。そのことについて、添乗員を乗せることで、その辺を対応してもらえないか。
- ・ 行きはバスに乗らずに直接学校に登校して、帰りはおじいちゃんの家近くのバス停で降りると言うように行きと帰りのバス停が違うという場合も可能にして欲しい。

- ・ バスの乗り降りが心配なので、バス通学の初めには練習をしていただけるのか。
- ・ 帰りのバスは何便出るのか。学校の事情に合わせた下校時間がいくつもあるが、それに合わせた便を用意して欲しい。

③曾呂地区

- ・ 徒歩通学を希望している父兄からの要望で、学校に上がっていく道に歩道やガードレールを整備して欲しい。
- ・ 茂田頓自動車のところから駐車場の奥の方に歩けば車の危険もなく、アップダウンもないので、そのようなところを通学路にして欲しい。その道は赤道ではあるが、昔、江見中学校の時には、徒歩通学の子はその道を通っていた。
- ・ 安全対策として、下から上がってくる道の斜面のところに階段を設置し、そちらからも上がれるようにしてはどうか。避難経路にもなるし、通学路としても活用していきたい。
- ・ バスの本数は1便なのか。バスに乗らない時の連絡はどうするのか。
- ・ 低学年など、帰りの時間が違うのでバスは2便出して欲しい。
- ・ 曾呂地区の東や西などでは、バス停までだいぶ遠い家があるので、その間を歩かせるのは遠いし、人気もなく一人ぼっちで不安なので、家の近くまでタクシーで回れないか。
- ・ コミュニティバスに乗ってもよいか。

議事（2）江見3地区統合施設の校名及び園名の選定方法について

統合施設開設に係るスケジュールの中で、校名、校歌、校章を今後検討していくにあたり、はじめに校名を決めていかなければならないため、その選定方法について事務局から以下の3案の説明があり、これについて協議が行われた。

- ①教育委員会で案を提示し、整備検討委員会で決定する。
- ②地区や学校等に持ち帰り、住民や児童・園児、保護者の意見を伺い、集約した意見を基に、整備検討委員会で決定する。
- ③市民から広く募集し、集約した結果を基に、整備検討委員会で決定する。

各委員から出された意見・質問等について

- ・ ②案と③案は、住民、市民に募集するので、似たような内容と思うが、別ものとするのかと質問があり、②案については、統合となる江見3地区の意見を集約する考えであり、③案については、市内全域を対象に広く意見を募る考えであることを事務局から説明した。
- ・ 安房東中や長狭学園など、以前の校名決定の方法について質問があり、安房東中では町民から広く募集して選考されたこと、長狭学園は、小学校名は委員会の中で決定したが、長狭学園という通称については長狭地区の意見を集約して選考したこと、鴨川中学校については、ホームページに掲載するなど、市内全域から意見を集約して選定したことを事務局から説明した。
- ・ 意見を集約する方法はどのような方法を考えているのか質問があり、意見を伺

うために応募用紙をお配りし、集まった意見を取りまとめて選考していく考えであることを説明した。

- ②案の場合、応募用紙は地区や学校に持ち帰ってということだが、それぞれ学校ごとにそれを実施するのか、あるいは教育委員会で一括して3地区に用紙を配布、回収して取りまとめてくれるのか質問があり、一つには学校を通じて各家庭にお願いして一人一点の形で応募していただくこと、さらに、お子さんが学校に通っていない家庭もあることから、区長を通じて戸別配布を行い、意見の集約を行いたい考えであることを事務局から説明した。
- ②案の意見を集約するのは、区長の役目となるのか、誰がまとめ役になるのか具体的な方法について説明が求められたため、集約は事務局が行うが、学校や区長を通じて、保護者や住民の方々に配布していただき、回収までお手伝いしていただきたいと回答した。
- ②案の意見回収について、児童、園児の保護者は小学校等を通じて回収できると思うが、住民については区長が集めることは大変であるので、公民館等の施設を使って回収する方法はどうかという質問があり、回収方法についてはどのような方法が一番良いのか今後検討させていただきたい。募集方法が①～③案のどの案に決まるかわからないが、区長にご足労を願うにしても、過度なご負担とならないように、できるだけ効率の良い方法で考えていきたいと回答した。
- 募集方法の②案が良いと思うが、①案と②案をいっしょにしてもよいのではないかと。検討委員会から提示した案と、各地区から選出したものが整合するかもしれないという意見があった。この意見について、事務局から案を提示するならば、江見小学校、太海小学校、曾呂小学校、それ以外の校名の4点となり、それ以外の校名の場合、自由記入でというアンケート的な形になると思うと回答した。

この説明について、委員からは、曾呂地区の人は曾呂小学校の名前を残したい、太海地区の人は太海小学校の名前を残したいと、極端な意見にまとまってしまった場合に、検討委員会で話し合っても決まらないのではないかと。それならば、教育委員会から全く違った案を提示していただけると、話がまとまりやすいのではないかと意見があった。
- ①案、②案だけで意見を集めると地元だけとなり、世帯数の多いところが一番の票を取ってしまい、これにしましようとなってしまうのではないかと。それならば、鴨川市全体の声を吸い上げたほうが良いのではないかとと思うので③案を提案したい。
- 南房総市の和田、丸山地区のように、現在の名前は使わない選択肢と新しい名前を書いてくださいという方法が良いのではないかと。また、①案であるように、教育委員会からその他の案について根拠があってこのような名前が良いのではないかと提案してもらおうというような折衷案がよいのではないかと。③案で市民から広く募集するとしても、他地区の人たちはこれに対して興味があるわけではないかもしれないので、意見が少ないのではないかと。ホームページを活用して募集することでいかがか。①～③案を全部合わせた形で進めれば良いと思う。新しく、この地区に根拠のある、納得した名前を作ったほうが良いのではないかとと思う。

- ・ 3地区の江見、太海、曾呂の名前を使うのは賛成ではない。今現在、旧江見中学校の建物は曾呂に建っており、曾呂の人にしてみれば近くに学校があり、江見の人にしてみれば江見という名前が残っているが、太海の人にしてみれば何もなくて面白くないような気がする。それを考えると、江見、太海、曾呂を学校名にしたら、また同じようなことになる気がするので、新たに違う名前を考えたほうが良いのではないかと思う。③案で市民に募集しても江見3地区以外の方は関心がないだろうと思われるので、江見、太海、曾呂の人全員に、新しい名前をつけてみたいのですがどうですかと言ったアンケートみたいなものを配って、どういった名前が出てくるか見た方が良いのではないか。それから、児童、園児のいる家庭は学校を通じて回収できるが、その他の住民の方の回収は容易でないので、教育委員会に個別に郵送できるようにしたらたくさん集まるのではないか。
- ・ 江見、太海、曾呂の3つに分かれるという考えもあるが、旧江見町というひとつのものがあつた。長狭学園の場合、昔からの長狭郡という名前が地域に浸透していたことから、長狭学園という名前になったと聞いているが、江見町という名前には名残はないのか教えていただきたいと質問があつた。これに対し、江見、太海、曾呂は明治22年の町村合併でできた村名であり、その後、昭和の大合併で3村が合併して町になった。その時に、学校は曾呂に持ってくる、役場は太海に持っていく、江見が何もないから町名を江見町にということで誕生した経緯があり、歴史的地名としては重みがないと、委員相互に質疑応答が行われた。
- ・ 3つの地区名を除いて新しい校名をという話に進んでいるようだが、江見地区は鴨川の南だから鴨川南小学校というような名前ではありふれている。長狭学園のように古代からの地名を用いるようなすばらしい響きの名前を先生方に考えていただけると良いと思う。
- ・ 江見、太海、曾呂の名前は使わない方が良いという意見もあるが、江見、太海、曾呂も考えた上で地域の住民にアンケートを取って見てその結果を見てみたい。
- ・ 自由記入のアンケートを取っても、住民の多くは江見、太海、曾呂のいずれかを書くと思う。だから、地区名を使わないで全く新しい校名を作りたいというアンケートにしないと新しい校名は出てこないのではないか。
- ・ アンケートの取り方は、どう考えますかと選択方式にして、曾呂が良いか、太海が良いか、江見が良いか、もしくはそれ以外なのか。それ以外の場合は、自由に書くスペースがあつて記入できる、特に案がなければお任せにするという形にしてはどうか。

以上のような議論を受けて事務局から公募にした場合の参考資料として、募集要項などの素案が資料として配布され、具体的な応募用紙案やスケジュール等の流れについて説明を行った。

各委員から出された意見・質問等について

- ・ 応募用紙に住所、氏名、電話番号まで記入する必要はないのではないかと質問があり、応募対象を市内に住所を有する方、通勤、通学をする方としていたため、

確認をするために考えていたが、次回までに修正案を示したいと回答した。

- ・ 個人情報であるので、電話番号だけでも省いたほうが良いのではないかと。

以上の協議の流れから、最終的に募集対象は江見3地区の住民等に限定し、校名についてのお願いの仕方は、新しく誕生するところにふさわしい名前を考えてくださいという形にし、今までの名称は使わないといった縛りはつけずに自由に書いていただくこととなり、次回会議で修正案を示すこととなった。

また、江見地区回覧だけではなく、ホームページなど様々な情報伝達手段を活用し、周知を徹底していきたいと事務局から説明した。

予定されていた議題（3）小学校統合準備委員会からの報告については、会議時間が大幅に超過したため、次回会議での報告となった。

議事（4）その他

次回会議について、11月26日（火）午後7時から市役所7階会議室で開催することで日程調整を行った。

その他、委員から出された意見・質問等について

- ・ 通学の要望で言い忘れたが、曾呂地区のサンクレメンテの私道を通らせて欲しいという要望があったのでお願いしたい。
- ・ 今日の会議で、各地区からの通園・通学の意見を聞いたのであるから、次回会議では市からこういうふうにしたいといった案を出してもらえるのか。これだけ各地区で話し合っ、教育委員会に意見を伝えたのだから、まとまった案は、市から出してもらえるのかという質問があり、事務局からは、いただいた意見についてはしっかりと受け止めさせていただいているが、財政部局や日東バスなどいろいろな関わりがあるので、今日いただいた意見に対して、全て次回までということは難しい。こちらで決定してお伝えできるものと、そうでないものがあることをご了解いただきたい。この通学に関しては、非常に大きな関心事であり、重要な案件でもあることから、これからも継続的に質疑をしていき、できるだけ皆さんがより良い形で開校・開園を迎えられるようにしていきたいので、回答できることは回答するが、今後少し時間をかけていこうということでご了解いただきたいと説明した。